

# 第3回定例 議会報告



金子卓 堀江鶴治

## デマンド型 乗合タクシー 具体的な検討はじまる

### 市内検討会がデマンド型交通システム (関係部署の12人で構成) 先進地の筑西市と行方市を視察



議会最終日、茨城農民連  
東北農民センターから提出  
された「ミニマムアクセス  
米の輸入停止を求める請願」  
は2人の共産党議員団だけ  
の賛成少数で不採択となっ  
てしまいました。採決で  
は、堀江鶴治議員が共産党  
市議団を代表して賛成討論  
をおこない「ミニマムアク  
セス米の輸入停止を求める  
請願は、現在の農業の置か  
れている状況からして目的を  
得た請願である」「日本が  
これ以上ミニマムアクセス

米の輸入を続けることは、  
食糧難の発展途上国の食糧  
を直接奪うことにならざる  
を得ない。国民の食の安全  
からも、農家の経営と地域  
の農業を守るためにも採択  
すべき」と他議員の賛同を  
求めました。

## ミニマム アクセス米 輸入停止を求める請願を 不採択にした市議会

那珂市議会は、同請願を採択

この請願を審査した経済  
建設常任委員会に所属する  
堀江議員は請願採択に努力  
しましたが、かないません  
でした。酒や菓子、学校や  
福祉施設の給食まで…汚染  
米の被害は甚大です。こん

米の輸入を続けることは、  
食糧難の発展途上国の食糧  
を直接奪うことにならざる  
を得ない。国民の食の安全  
からも、農家の経営と地域  
の農業を守るためにも採択  
すべき」と他議員の賛同を  
求めました。

お年寄りから自動車を持  
たない人達など交通弱者と  
される方が便利に安心して  
利用できる交通システムを  
めざして、現在、内部組織  
である市内検討会（関係部  
署の職員12名で構成）で  
検討を進めています。現在

また、8月27日には検  
討委員で県内のデマンド型  
交通システム導入団体の先  
進地である筑西市と行方市  
を視察研修してきました。  
現在は、視察研修で得た情  
報などの取りまとめ、さら  
に各委員からの意見の集約、  
当市との比較検討をし、今

デマンド型乗合タクシーに  
ついて、第3回定例議会での  
日本共産党金子卓議員の一  
般質問に答え、総務部長は次  
のように説明しました。

までに2回会合を持ち、7  
月30日の第1回目の会議  
で市内検討会設置要綱の報  
告や、新市内循環交通シス  
テム導入スケジュールの概  
略を検討しました。

「違法を告発した労働者を  
守れ」「トヨタの違法な派遣使  
いまわしをただせ」リアルな実  
態を示して大企業を告発した  
志位和夫委員長の質問(10月  
7日、衆院予算委員会)がネット  
で大反響。「企業のヤミを告  
発できるのは共産党だけ」など、  
激励のコメントが数多く寄せら  
れています。

## 派遣労働の「志位質問」が ネットで大反響!!

なひどいことがおこる根底  
には、自民・公明政権が義  
務もないのに年間77万ト  
ンもの外米を輸入している  
という大問題があります。  
請願を不採択とした議会  
に市民から厳しい批判の声  
があがるのは当然です。

後の詳細なスケジュールも  
検討を進めています。  
今後のスケジュールは、  
おおまかには10月に市内  
循環交通システム検討委員  
会を立ち上げ、アンケート  
等を実施して検討し、基本  
方針を年度内に出したいと  
考えています。

三次市長は「事務的には  
時間がかかるというのは総  
務部長の答弁だが、1日も  
早く実施したいという思い  
は変わりありません」と答  
えました。

## 大企業の横暴 政治がただせ



## 日本共産党の ホームページが好評です

<http://www.jcp.or.jp/>

日本共産党

検索

携帯用ホームページ  
<http://www.jcp.or.jp/i/>  
多彩な情報をお届けし  
ます。



金融不況



福祉



食料



平和



経済

## ひとめでわかる共産党の政策

雇用



憲法



消費税



医療制度



政治の中身を  
変える  
貧困なくし、平和な日本へ  
日本共産党

## 日本共産党 常陸大宮市議会報告

2008年10月 第8号 発行/日本共産党常陸大宮市議団

金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)

☎(52)2422 ☎(56)3030

一般質問から

小中学校の統廃合

徹底した住民合意が  
欠かせない問題

共産党の堀江議員は、学校統廃合についての基本的な考え方を教育長に質問しました。

堀江議員 学校統廃合の問題の解決には、過疎地域の問題、少子化対策をつよめて子どもを安心して生み育てられる郷土をどうつくっていくのか、このことを市

第3回定例議会（9月議会）は、9月5日に開会し24日に閉会しました。

今議会は平成19年度の決算審査がおこなわれ、日本共産党市議団は、一般会計・国保会計・介護保険会計・農業集落排水会計・簡易水道会計・上水道会計に反対しました。

請願・陳情は、茨城農民連東北農民センターから提出された「燃料・肥料・飼料農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請



堀江鶴治議員

がしっかりと位置づけて取り組まなければならない重要な課題です。市長が変わったわけですから、新しい観点にたつて、市の行政、教育行政を進めていただきたいと考えます。

学校の統廃合の波が全国に押し寄せています。この流れは、地方行革、町村合併の流れの中で起きている問題です。すなわち、自公政府は、大型公共事業や、



軍事費を維持するため、福祉や、教育予算の一層の削減を決意し、教育分野においては、教員を大幅に削減し、学校の統廃合を押し進めようとしています。

私は統廃合問題は、①その統廃合がこどもの教育にプラスになるのかどうか、②学校が地域の核として独自の役割を果たしていることを考慮すること、③小中学校の統廃合は、行政が一方的に進めてはならず、徹底した住民合意が欠かせない問題であること、④少子化の問題の取り組みがどうなっているのか、以上の4点を基準にして充分時間をかけて論議していくべき問題だと考えます。

願（紹介議員は共産党議員団）は全会一致で採択され、同意見書が国会と政府関係機関に提出されましたが、同時に提出された「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」は共産党議員団だけの賛成少数で不採択となりました。

傍聴者は議会初日が14人、一般質問の日は2日間で66人、最終日は1人でした（記者を含む）。一般質問は10人が質問しましたが、岡崎榮一議員は下記のとおりです。

常陸大宮市…質問と答弁合わせて60分

- 那珂市 …質問だけで60分の持ち時間制
- 常陸太田市…質問だけで40分の持ち時間制
- 北茨城市 …質問だけで30分の持ち時間制
- 東海村 …質問だけで30分の持ち時間制



市長 子どもには、修学旅行など特別の場合、本人のみ短期保険証を発行して

資格証明書は、国保税を滞納している世帯から保険証を取り上げたこと引き換えに発行されます。医療機関の窓口でいったん医療費全額（10割負担）を支払わなくてはならず、受診抑制や治療中断などが起き、全国で深刻な問題となっています。

保険証でなく資格証明書を発行しています。小学生が4人、中学生が2人、高校生が2人です。市として子どもを大切にするならば正規の保険証を発行すべきです。



金子卓議員

福祉灯油

金子議員 これから冬を迎える時期、灯油価格の高騰が不安を与えています。生活困窮者に灯油購入費を助成する「福祉灯油」の実施自治体が広がっています。当市は考えているのでしょうか。

保健福祉部長 現在のところ市独自の灯油購入費等の助成は考えていません。

ます。今後とも議員ご指摘のことを受け止めながら対応していきたいと考えています。

第4回定例議会は  
12月22日開会

請願・陳情は11月25日まで傍聴をお待ちしています。

相談は  
お気軽に



(52)2422 金子卓 議員  
(56)3030 堀江鶴治 議員

「統廃合計画」に対するアンケートは、現在までに25人の方から回答が寄せられました。記載されていた貴重なご意見は、今後の議会活動に生かさせていただきます。

話しました。地域の区長さんのはからいで解決しましたが、過疎地域の生活環境を維持することは、高齢化が進む中で今後の重要な課題となっております。